

県内でのインフルエンザの流行シーズン入りについて

県では、県内のインフルエンザ発生状況を把握するため、毎週、定点医療機関から、患者数の報告を受けています。

令和6年第47週(11月18日～11月24日)のインフルエンザ患者の定点当たりの報告数が1.24人となり、流行の目安にあたる1.0人を上回りましたので、インフルエンザ流行期に入ったことをお知らせします。

今後、インフルエンザが本格的に流行する時期となりますので、地域の流行情報に注意するとともに、感染予防と感染の拡大防止に努めていただきますようお願いいたします。

【県民の皆様へ】個人でできる感染予防策をしっかりと行って下さい。

- ◎ 基本的な感染対策を続けましょう
 - こまめな手洗い・手指消毒
 - 場面に応じたマスクの着用
 - ワクチン接種（かかりつけ医と相談）
 - 休養・栄養・水分補給
 - こまめな換気
- ◎ 発熱などの体調不良がある方は、かかりつけ医等の医療機関に早めに相談しましょう。
- ◎ 発熱や風邪症状などの症状がある場合は、無理せず自宅で安静に過ごし、周囲にうつさない配慮をお願いします。

【インフルエンザ報告数（感染症発生動向調査）】

○定点あたりの患者報告数 <保健所管内別の発生状況>

保健所	松江	雲南	出雲	県央	浜田	益田	隠岐	計
定点医療機関数	11	3	9	3	5	5	2	38
第45週(11/4～11/10)	1.82	0.33	0.33	0	0.60	0.20	0	0.74
第46週(11/11～11/17)	1.82	0	0.33	0.33	0.80	0.40	1.50	0.87
第47週(11/18～11/24)	1.55	1.33	2.11	0.67	0.80	0.20	0	1.24

(定点当たり報告数＝1週間に定点医療機関を受診した患者数／定点医療機関数)

【参考】

○県内流行情報の詳細は島根県感染症情報センターのホームページをご覧ください。

https://www1.pref.shimane.lg.jp/contents/kansen/inf/24_25/inf.htm

○全国のインフルエンザの発生状況については、こちらをご覧ください。(厚生労働省HP)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/index2024.html>